

競技注意事項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

2 練習について

練習はすべてサブトラックを使用する。ただし、サブトラックでの投てき練習は一切禁止する。
フィールド種目の練習は競技場内で役員の指示により行う。練習時間は、棒高跳60分、その他の種目は30分とする。ただし、砲丸投決勝のみ25分とする。

3 招集について

(1) 場所は雨天練習場に設ける。

(2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード（左右両腰につける）とスパイクピンなどの確認を受ける。

② 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、あわせて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の確認）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理を認める。

③ 混成競技については、1日目・2日目ともに第1種目は競技者係にて行う。以降の種目については、招集所北側の混成競技者控え場所に、トラック種目は競技開始の20分前、フィールド種目は35分前までに集合すること。ただし、最終種目については競技者係にて行う。なお、途中で棄権する場合は必ず混成競技係に申し出ること。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。

4 競技について

(1) スタートにおける不適切行為には§162-5を適用せず注意にとどめる。

(2) レーン、試技はすべてプログラム記載の番号順とする。準決勝・決勝の組合せ（レーン順、試技順）はすべて番組編成員が行い、招集所およびCゲートに掲示する。

(3) 競技結果については、場内アナウンスおよびスクリーンで発表する。

なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を、正式発表とする。

(4) リレーオーダー用紙の提出について

各リレー種目のオーダー用紙は、すべて1日目の学校受付時に配付する。

ラウンド	提出先	提出時刻
予選	招集所入り口付近の競技者係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から1時間30分前まで
準決勝・決勝	同上	招集完了時刻の1時間10分前から40分前まで

準決勝・決勝のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し必ず提出すること。

なお、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているのので、参考のうえ間違いのないように記入すること。

(5) 5000m、女子3000m、5000m競歩は別（胸、腰）ナンバーカードを使用する。また、1500m、3000mSCは別（腰）ナンバーカードを使用する。4×400mにおいて第2・3走者は右腰に・第4走者は左右両腰に腰ナンバーカードをつけること。

5000m、女子3000mはグループスタートで行う。

(6) トラック競技における次のラウンドへの進出について

① (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

(ア)レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。

(イ)レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。

②同着により着取りによる進出者が増えた場合は、+ α での進出者数を減らす。

